

# 「社会不安の中での地域の 安全・安心は万引き防止から」

---

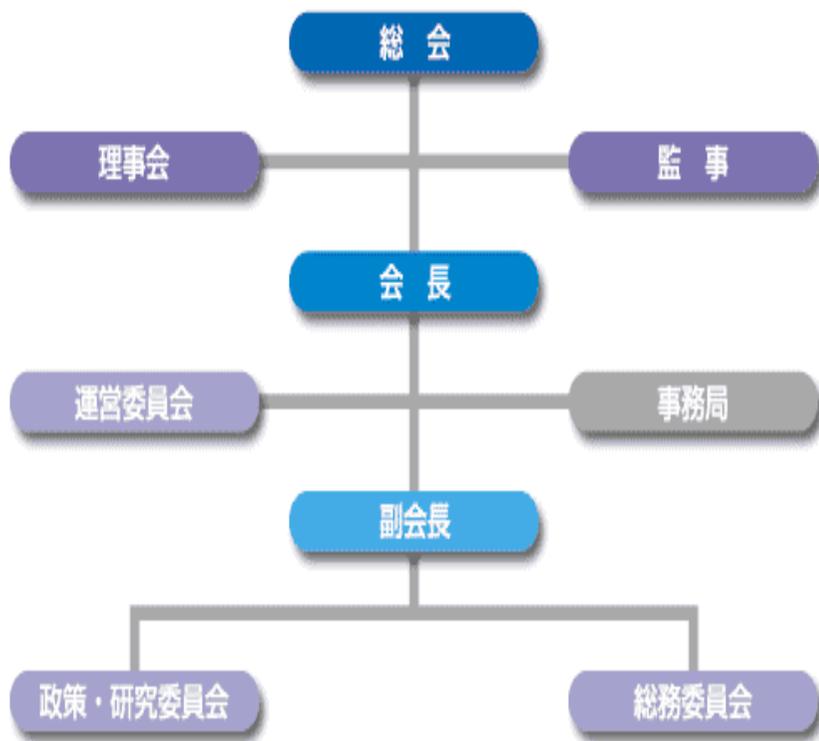
日本EAS機器協議会 副会長  
株式会社三宅 代表取締役社長 三宅正光



## 事業活動

1. EASシステム・機器の普及促進活動
2. ユーザー団体(小売業・レンタルショップ・図書館・空港施設等)との連携
3. 関連行政機関(経済産業省・警察庁・厚生労働省・総務省等)、地方自治体等との連携
4. 諸団体・研究会等との連携(日本医用機器工業会、消費者団体等)
5. 海外との連携(米国ソースタギング協議会等)
6. 報道機関・一般消費者等への対応
7. 調査研究(EASシステム導入実態調査、各種ガイドラインの作成等)
8. 普及啓発活動(EAS機器導入店表示ステッカー、パンフレット・マニュアルの作成・配布、セミナー・説明会の開催等)

## JEAS組織



	組織	氏名
理事	会長	高千穂交易(株) 代表取締役会長 山村 秀彦
	副会長	(株)三宅 代表取締役社長 三宅 正光
	副会長	アイデックコントロールズ(株) 代表取締役社長 土岐 知則
	副会長	(株)チェックポイントシステムジャパン 代表取締役社長 大脇 明憲
	政策・研究委員会	ACTUNI(株) 代表取締役社長 小原 史郎
	政策・研究委員会	住友スリーエム(株) セキュリティシステムズ 製品部マーケティング部 部長 薄井 弘之
	政策・研究委員会	ユニバルス(株) 営業本部 ロジスティクス営業部 次長 喜多 慎一
	総務委員会	(株)エスキューブ 顧問 福井 昂
	総務委員会	西武産業(株) 取締役営業部長 樋口 優平
	総務委員会	チェスコムアドバンス(株) 常務取締役 内藤 正美
監事		(株)ソーネット 取締役セキュリティシステム部 部長 中道 和之
		松尾産業(株) 専務取締役 伊藤 和賢

## JEAS会員

### 【正会員】

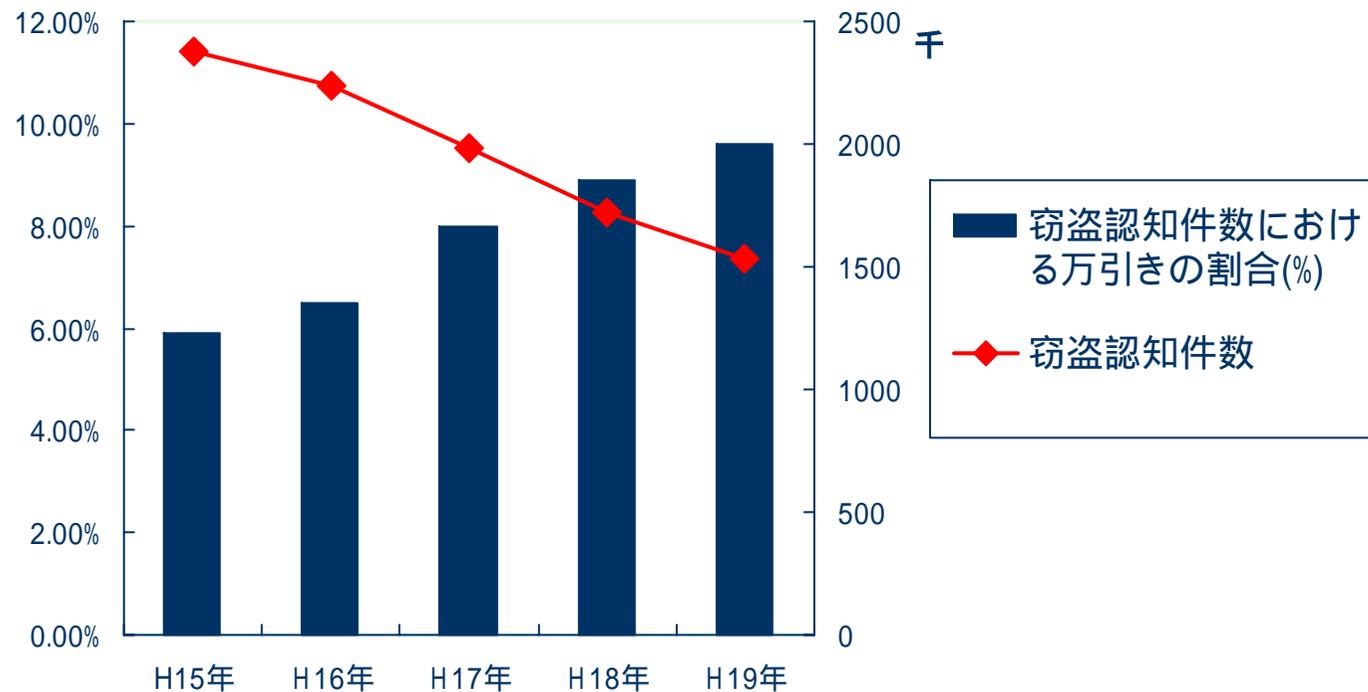
アイデックコントロールズ(株)
ACTUNI(株)
(株)エスキューブ
エム・ケー・パビック(株)
グンゼ(株)
(株)コージン
(株)ジーネット
シグマ(株)
住友スリーエム(株)
西武産業(株)
高千穂交易(株)
タカヤ(株)
チェスコムアドバンス(株)
(株)チェックポイントシステムジャパン
(株)テクノ・エンジニアリング
(株)トスカ
ネットセキュリティー(有)
松尾産業(株)
(株)三宅
ユニチカ(株)
ユニパルス(株)
《休会》
リンテック(株)

### 【賛助会員】

セコム(株)
日本実務出版(株)
【特別会員】
(社)日本防犯設備協会
(社)日本自動認識システム協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
タグ&パック事務局

## 万引きの割合は年々増加しています。

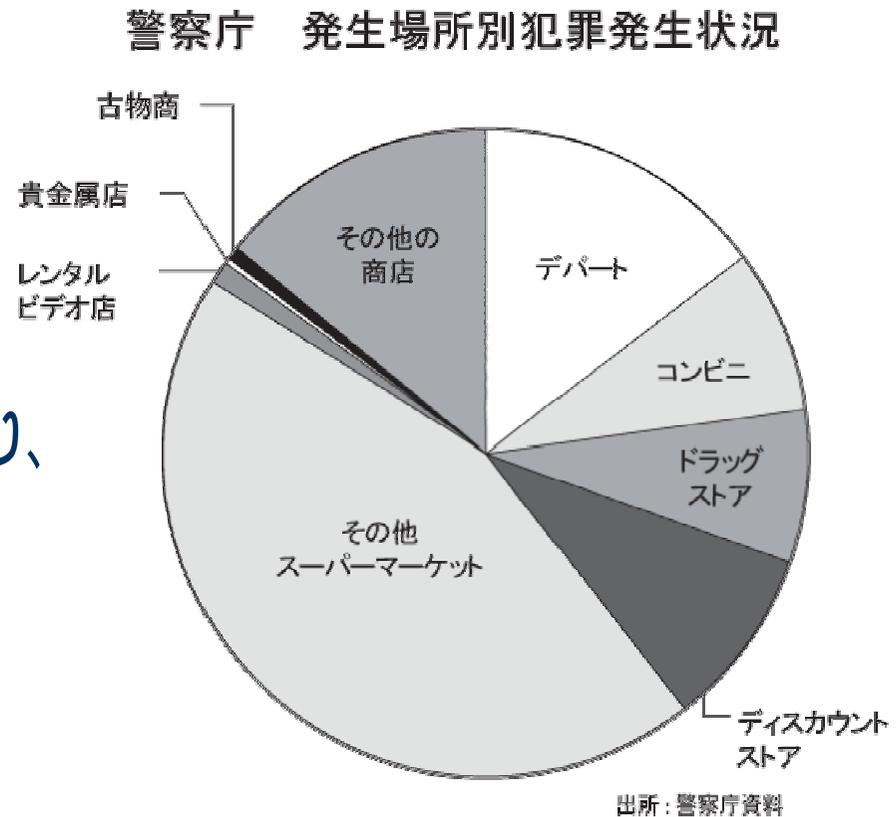
窃盗認知件数は年々減少していますが、窃盗全体のうちの万引きの割合は年々**増加**しています。



窃盗認知件数と万引きの割合 法務省犯罪白書より

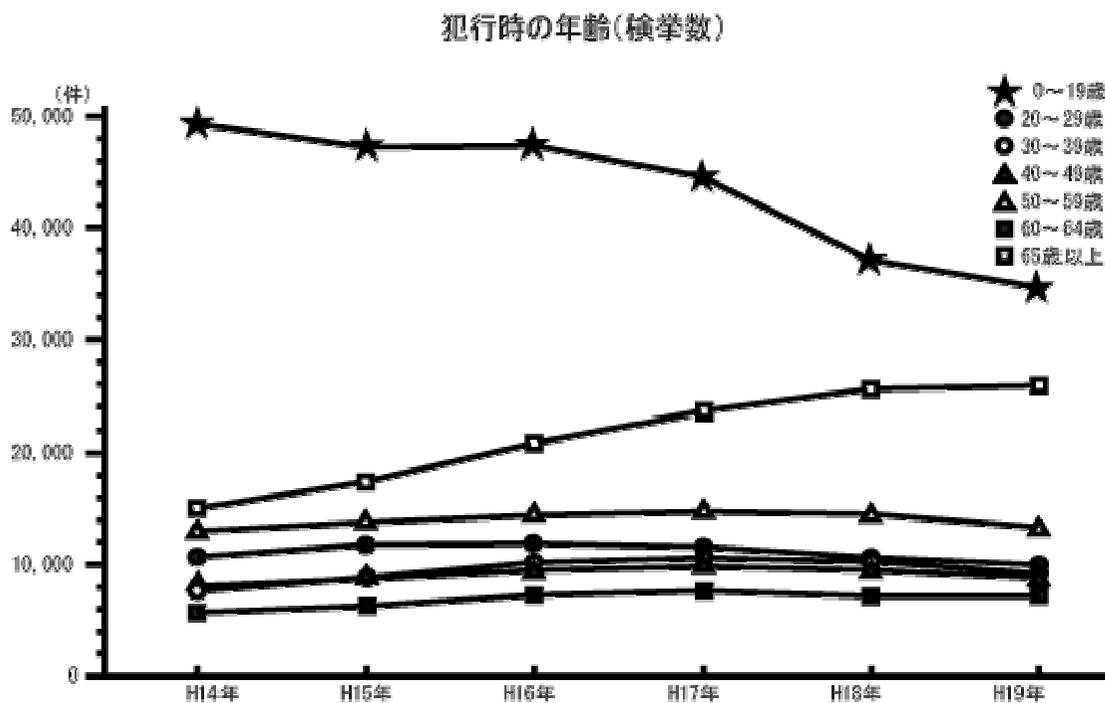
## 万引きの発生場所

- ◆ 万引きの発生はスーパーマーケットが4割を占め、ついでデパート、ディスカウントストア、コンビニと続きます。ゲートなどのEAS機器を設置が難しい店舗に多い傾向にあるのが分かり、犯罪抑止力となっているものと考えられます。



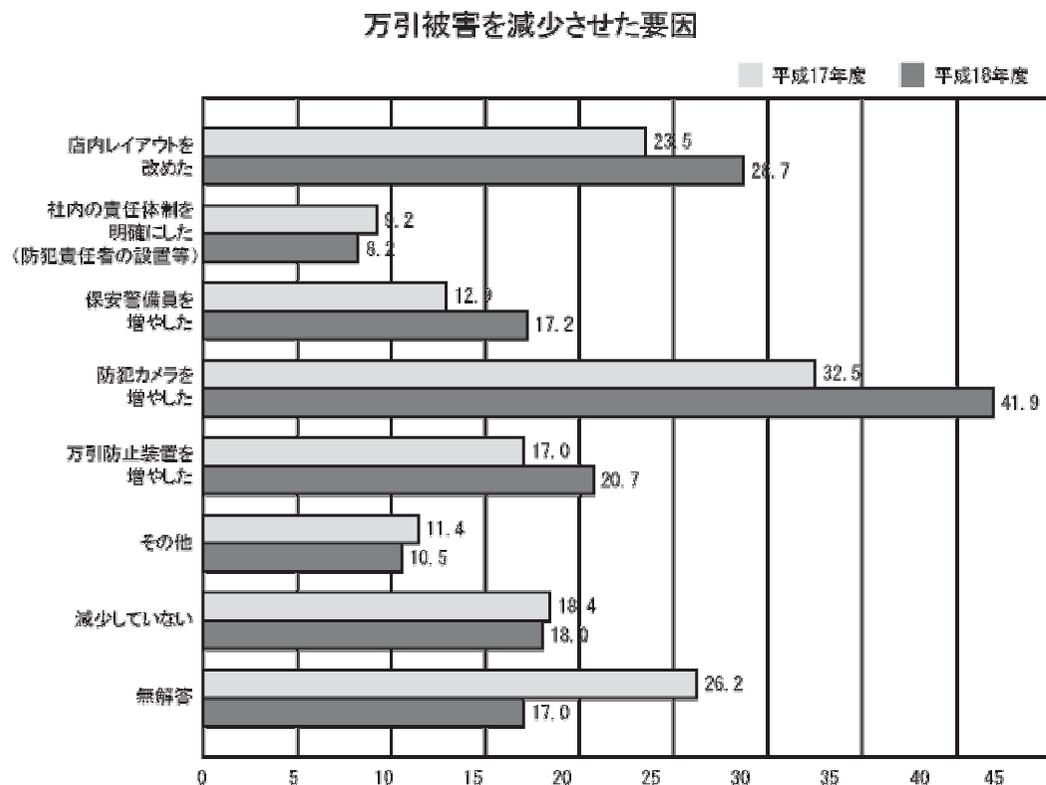
## 万引き犯行時の年齢の推移

19歳までの未成年の検挙数がぬきんでてはいますが、平成14年と比較して、平成19年には検挙数が2割減少していることが分かります。特筆すべきは65歳以上の高齢者の検挙数が2割増加しています。



## 万引被害を減少させた要因

万引被害を減少させた要因の調査では、防犯カメラの設置が1位に挙げられているが、2位には店内レイアウトの変更が挙げられています。ハード面(カメラ)とソフト面(人)による監視が最も効果が高いことが実証されたといえます。



## 万引きさせない環境要素

3つの要素が融合することで万引きさせない環境を生み出します。

### ◆ 抵抗性

犯罪者から加わる力を押し返そうとすることであり、ハード面の恒久性とソフト面の管理意識。

### ◆ 領域性

犯罪者の力が及ばない範囲を明確にし、ハード面の区画性とソフト面の縄張り意識。

### ◆ 監視性

犯罪者の行動を把握できることで、ハード面の視認性とソフト面の当事者意識。

## 犯罪に強い3要素

抵抗性と領域性と監視性が高いほど犯罪機会は少なくなります。重要なことは、ハード要素とソフト要素の相乗効果で犯罪に強い環境が作られるということです。

そのための分析を行わないと、問題の根本解決には至りません。例えば、商品管理システムを導入した店舗で、一年間はロスが下がったが、導入した店長が異動になったあとロスが悪化し始めた。店長の異動がロスの原因？このような結果論だと対策が打てません。その間のプロセスを抵抗性・領域性・監視性の3要素に分解してみることで、本当の原因を正確につかむことができます。

## 犯罪に強い3要素による環境設計

### ◆ 抵抗性

抵抗性を高める工夫は、感知タグの取付徹底、整理整頓(盗まれたら空きができるので早く発見できる)、従業員の配置強化をしたら標的が強固になり恒常性が高まります。ハード面で恒常性を高めてもソフト面での管理意識が低ければ抵抗性が高いとはいえません。

### ● 領域性

犯罪者は、物理的・心理的なバリア(障壁)によって領域性を高められた場所への接近を躊躇・断念する可能性が高くなります。ハード的には、「試着室への商品持込は2点まで」などの店舗ルールを知らせることで、ソフト面の人的活動の必要性(縄張意識)が無ければ、ルール無視が放置されることとなります。

### ● 監視性

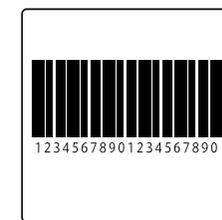
犯罪者は、視線を遮る物がなく、監視の目が光っている場所では犯行を躊躇・断念する可能性が高くなります。ハード面の視認性の例としては、棚の高さを低くする、店内の死角に防犯カメラやミラーを設置することなどです。不審者を見つけても警戒心を持たないと被害は拡大します。

## EAS機器とその種類。

EASとは電子商品監視システム、いわゆる万引き防止システムです。

主に電波方式(RF)、音響磁気方式(AM)、磁気方式(EM)、自鳴方式があり、それぞれ出入口に設置された各方式用のゲート(アンテナ)で各方式のタグを検出します。

RF方式: コイルとコンデンサーから構成されており8.2MHzを中心とする周波数帯で検出されます。



RF方式

AM方式: アモルファス金属製で58kHzで共振し自ら電波を發します。



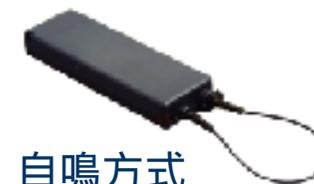
AM方式

EM方式: 磁場の歪を検出する方式



EM方式

自鳴方式: 交流磁場を検出して警報を鳴らす機能とタグを外されると警報を鳴らす機能を併せ持ちます。



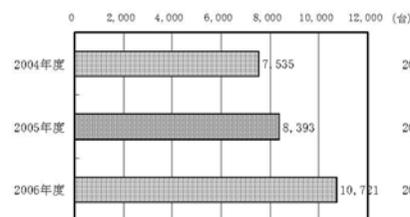
自鳴方式

## EAS機器の設置台数と導入推移。

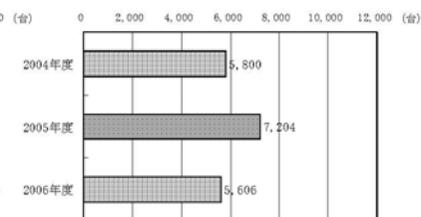
- EAS機器の導入状況  
RF方式とAM方式の  
EAS機器が約9割です。

EAS機器の設置台数（動作方式別設置台数）

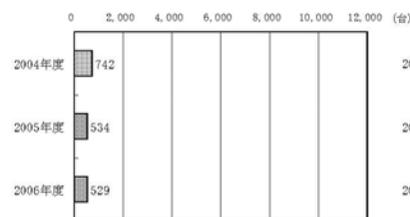
①RF方式



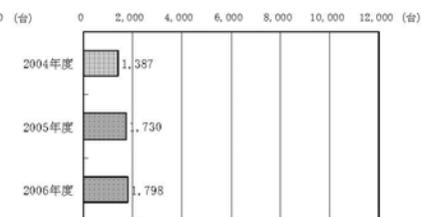
②AM方式



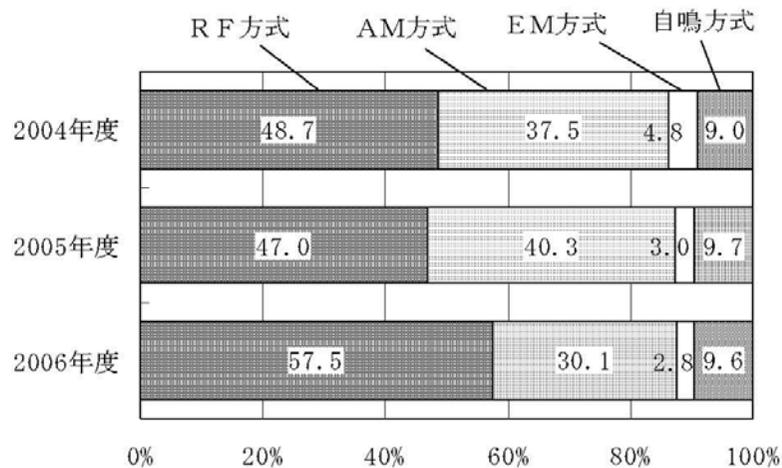
③EM方式



④自鳴方式



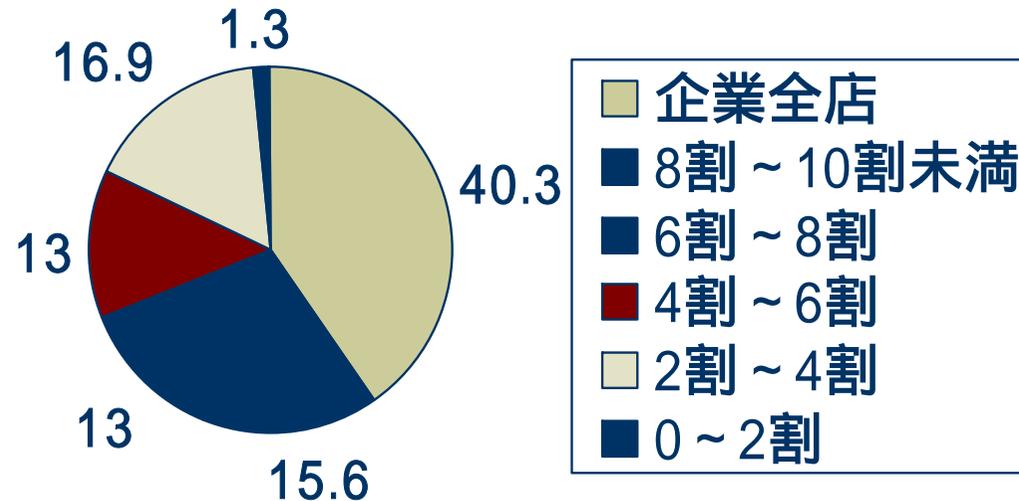
EAS機器の設置台数（動作方式別割合）



## 万引き防止のためのEAS機器。

EAS—万引き防止システムの導入はロス率を低減させるハードの要です。

- EAS機器の導入状況  
 企業店舗の6割以上に導入している割合は実に約70%に上ります。

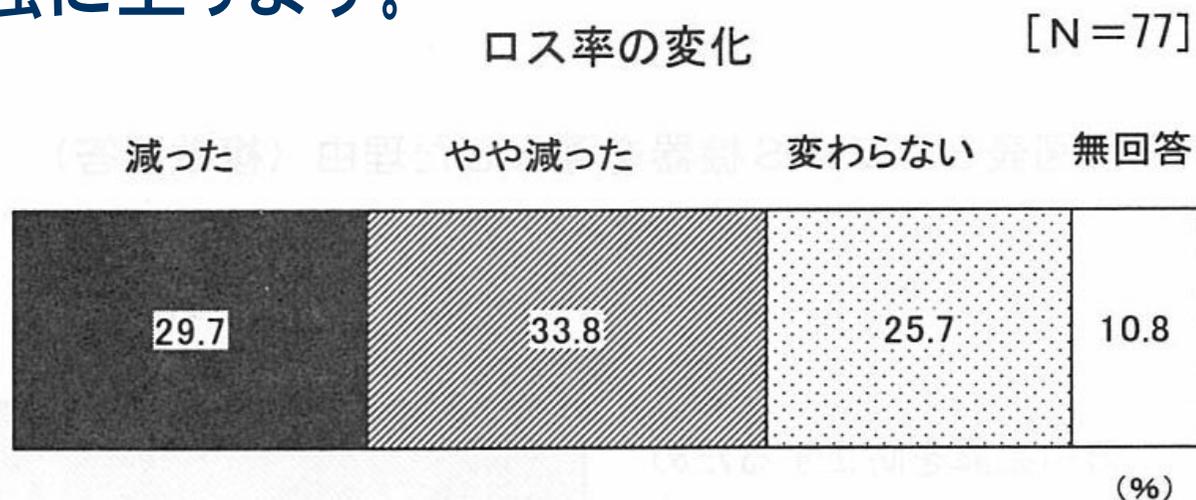


全店舗に占めるEAS機器を導入している店舗の割合

EAS機器の実態調査報告書より

## EAS機器導入によるロス率の改善

- ◆ EAS機器導入により、ロス率が改善された企業が6割強に上ります。



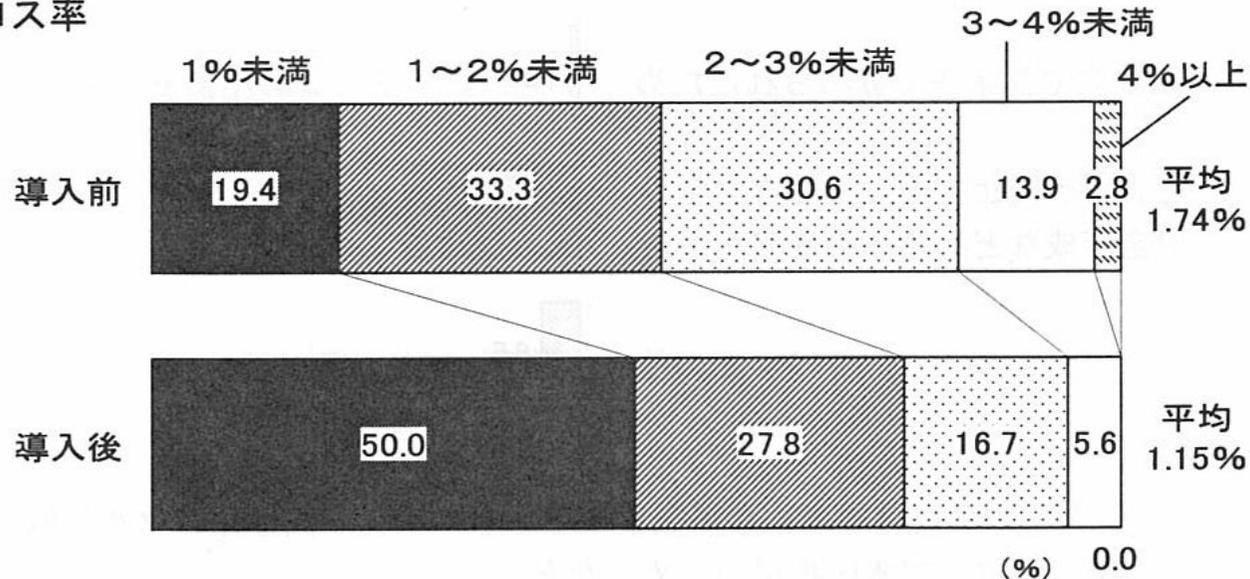
注：無回答には「開店時から導入しているのでわからない」を含む。

## EAS機器導入によるロス率の改善

EAS機器導入により、ロス率「1%未満」の割合が、導入前の19.4%から導入後50%と大きく増加しています。

ロス率及びその変化（数字記入） [N=36]

①ロス率



ロス率の変化 実態調査

EAS機器の実態調査報告書より

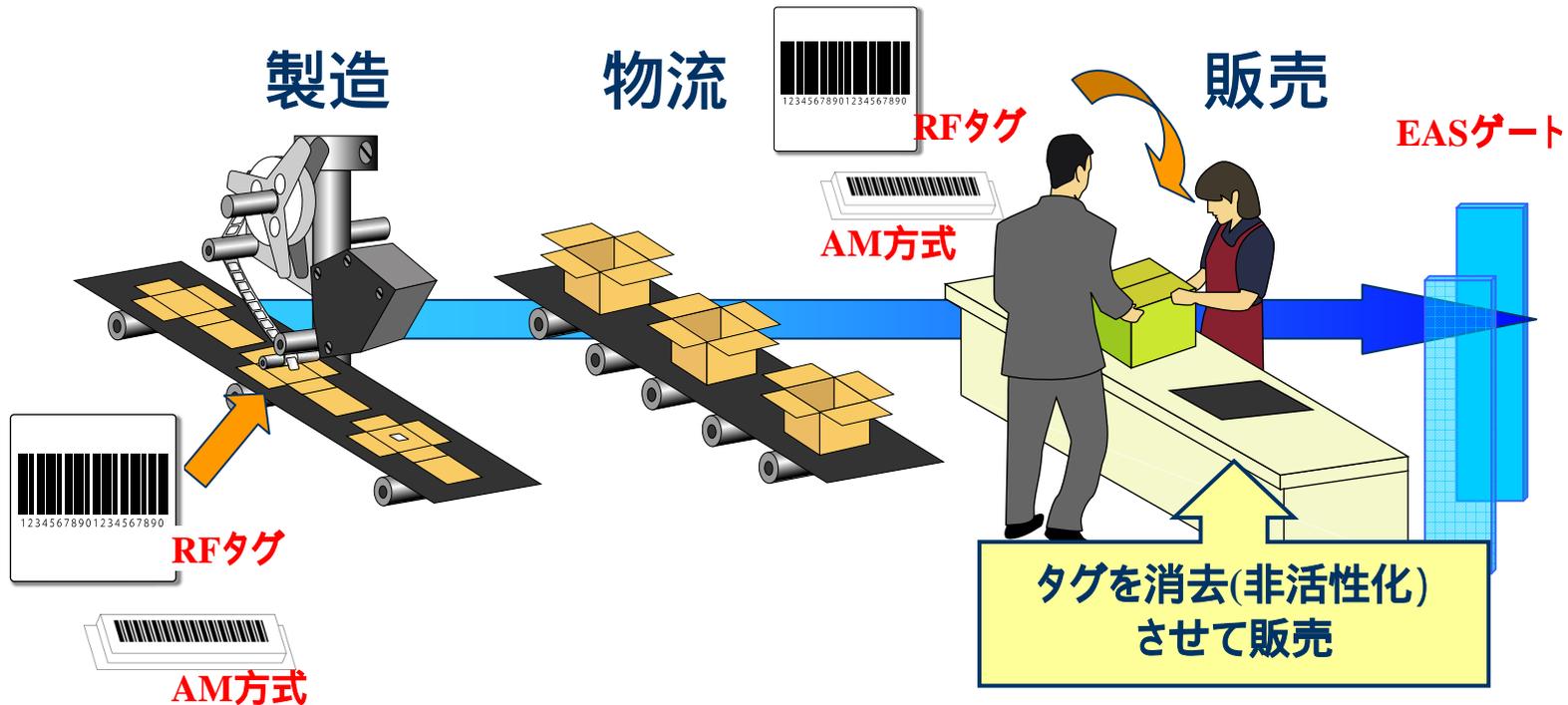
# EAS機器協議会内 「ソースタギング調査委員会発足」

- ・経済産業省の関連団体(財)流通システム開発センターの指導でソースタギングの情報交換の開始
- ・海外の実施例調査
- ・国内の業界別実態調査、流通業界・メーカーの要望調査
- ・関係省庁や各企業への呼びかけ、普及活動

## ハード面・ソフト面の両面からの ロス率の低減に、ソースタギング。

ソースタギングとは  
セキュリティ・商品管理用タグを商品の製造、梱包、  
又は物流段階で装填・内蔵させることです。

ソースタギング



# ソースタギングのメリット

## 小売店のメリット

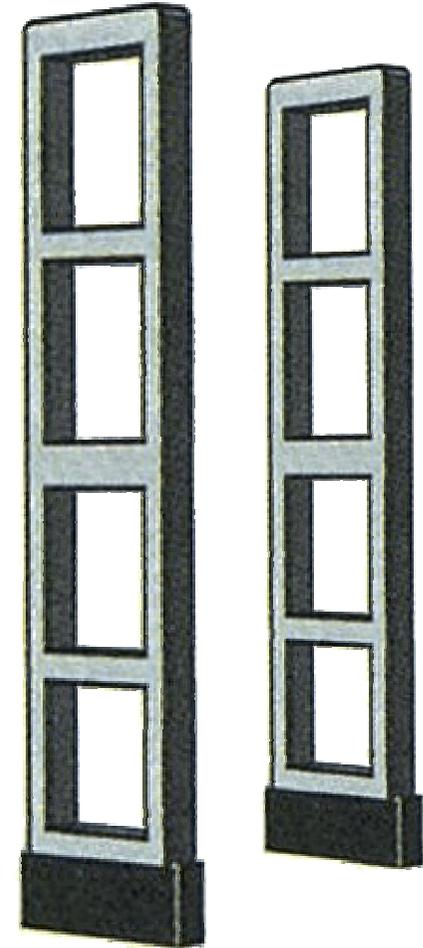
- オープン陳列による売上増大が見込める
- 万引きによる品切れアイテムの減少。販売機会の増加
- (タグ) 正確な自動補給により、店舗でのタグの数量管理が不要になる
- 一貫したタグ貼りにより貼りもれがなくなる
- 入荷した商品を迅速に陳列できる
- 店舗スタッフはタグ貼り作業に煩わされることなく生産性が向上する
- 店舗スタッフは顧客サービスに専念できる
- ロス率の低減が加速する

## メーカーのメリット

- オープン陳列による売上増大が見込める
- 万引きによる品切れアイテムの減少。販売機会の増加
- (フェーズ 以降では) セキュリティタグ貼り付けにより商品パッケージを損なわない
- 顧客である小売店に対するサービスが向上する
- 顧客である小売店からの信用があがる
- 一般消費者に対し、防犯に熱心であるという企業イメージが向上する。

## EAS機器の進化

- ◆ 技術の進歩と社会のニーズから、ゲートをはじめとして、EAS機器の性能や機能も進化しています。更なる防犯対策を講じるためにも、EAS機器の進歩に伴う、社員教育(ソフト面)と、EAS機器の導入のみにとどまらず、メンテナンスと保守を行うことで常にEASシステム全体を良い状態に保つ(ハード面)ことが、万引防止、ロス率低減に最も効果的な対策です。



## 犯罪を未然に防ぐ + ロス率低減

- ◆ 犯罪を未然に防ぐ
  - EASシステムの導入(ハード)
  - 社員教育、監視、警戒(ソフト)
  - ソースタギング(防犯へのインフラ)
- ◆ ロス率低減
  - ハード面とソフト面の質向上による防犯対策と販促の充実
  - ソースタギングによる人件費の削減と防犯性の向上